

【凡例】
 青字：旅行商品、ツアーに関すること
 紫字：プロモーションに関すること
 緑字：ガイドに関すること
 茶字：インフラに関すること
 赤字：その他、注目すべき内容

	取組概要及び実績	取組課題	今後取り組みたいこと
1 (一社) 西条市観光物産協会	・行政施策と連動し、観光物産振興を行う	・資金調達・人材確保が課題 ・ツーリズム事業展開の先進地域観光協会への視察訪問等	・伊予西条駅前観光交流センターでの ツーリスト対応 (インフォメーション及びサポート品質向上) ・ツーリズム事業(市内観光資源を有機的につないだ 体験型旅行商品の開発 、送客) ・大都市圏・海外への 石鎚認知活動 (物産展と並行しながら多彩な石鎚の魅力の発信)
2 久万高原町観光協会	・HPやFBでの 情報発信 (いの町提供の道路規制情報等掲載) ・ 着地型ツアー実施 (石鎚・道の駅スタンプラリー・夏祭りを組み合わせたツアー実施) ・石鎚山系 エコツーリズム推進協議会 ・ 石鎚山クリーンアップ協議会 への参画	・現状では 石鎚に特化したPRなどは行っておらず、他地域で取り組みを行っているグループなどとも連携が取れていない	・地域間で連携して 広域での情報発信や観光客誘客 についての検討
3 いの町観光協会	・石鎚山系を利用した 登山ツアー紹介 、 ガイド手配 、 ガイドサポート	・旅行会社への 営業 、 ガイド不足	・ ガイドの人数や仕組みの構築 ・ 登山者や旅行会社のニーズ把握
4 西条商工会議所	・くさりプロジェクトでの 新観光ルート開発 (石鎚山スタートツアー、伝統文化体験、自分磨き体験)	・山登りと観光は目的が違う ・旅行商品、特に野外で行うイベントは雨天対策が必要 ・ 安全性の問題	・現在、晩秋から冬での スキーやスノーボー客以外の継続的なイベント検討 (冬のスタートナイトツアー、かまくら体験、大型望遠鏡による星空観測、イルミネーション、スノーシュー体験など)
5 (一社) 仁淀ブルー観光協議会	・石鎚山系ハイキングコースの 旅行会社向けセールス活動及びツアー実施時の受入側調整、アテンド	・ハイキング以外の 観光商品造成 ・ 広域連携による観光商品の魅力向上及び長期滞在 に向けた取り組み	・ サイクリングルート開発 や サイクリングイベント開催
6 (株) 石鎚観光	・「石鎚インテリタラー」(専門的な知識を持っている案内人)が活躍できる仕組みの構築。 ・ トレッキングツアー等の実施 。	・利用者の減少 ・ ガイド不足 ・観光ルートとなりうるような 瓶ヶ森林道の整備	・旅行者、各種団体、一般観光客を受け入れる ワンストップ窓口の構築(DMC設立)
7 石鎚登山ロープウェイ(株)	・愛媛県観光集客力向上支援事業(ポータル機能、 石鎚登山パス企画 、 体験型プログラム開発) ・くさりプロジェクト(新観光ルート開発 、新プログラム開発)	・広域連携による モデルルート構築 ・ 周遊 ・ 滞在 の促進 ・ 交通結節点 ・ 宿泊拠点等と石鎚を結ぶ二次交通などアクセス整備 ・ 自然や伝統文化などの旅行商品化 と流通促進に向けた取組推進 ・登山・自然体験プログラムの荒天や雨天時の対策	・「神様の住む山石鎚山」：石鎚山、四国霊場、遍路道、面河溪、源流、名水、生産品などの資源を活用し、神様の住む山と銘打ち 質の高いオリジナルストーリーを演出、活用し、モデルルートを作り来訪者増加に繋げる ・「石鎚・冬のエンターテイメント」： 冬季着地型体験プログラム開発と実施
8 四国開発フェリー(株)	・ 旅行会社での企画募集設定 (大阪からの往復フェリー利用)：4~5月277名、10~11月104名	・個人旅行に関しては西条からの路線バスとロープウェイ営業時間が朝、夕、 各1時間延長になれば、フェリー利用で石鎚山登山往復可能 ・瓶ヶ森林道の整備により マイクロバスでの乗り入れ 、石鎚山系縦走可、 石鎚登山道くさり場脇道の落石防止ネット 等の対応望む	・ ボルダリング 、 ロッククライミングの情報発信
9 瀬戸内運輸(株)	・西条市内から石鎚ロープウェイ前までの路線バス運行	・西条市大保木地区住民の利用が主体であり、登山客の利用に関しては利便が悪い。	
10 (特非) 西条自然学校	・哺乳類相の調査 ・外来鳥類(ソウシチョウ)調査 ・ 自然観察ツアー開催	・調査費の確保 ・ ガイドの養成	・総合生物調査 ・外来種の防除 ・自然観察ツアーの回数、テーマを増やす
11 (特非) 石鎚森の学校	・成就地区を拠点とし、石鎚山の情報発信、自然を学び体験できる事業、石鎚の伝統文化である「折り」を体験する「石鎚修験道体験」を実施。 ・(音楽ライブ、写生大会、自然観察会、クラフト教室等) ・自然保全活動(遊歩道、園地の草刈当)	・情報発信の不足(石鎚山のことを紹介するビジターセンター等の設置が必要) ・ ガイドの不足	・石鎚山成就地区をフィールドとしたイベント
12 面河溪を愛する会	・面河溪谷の古道の復活、整備 ・遊歩道の整備、眺望の確保 ・面河地区の観光資源調査等々観光地として再興させるための下地作り	・ 国有地、国定公園、文化財保護区等規制が厳しく 、スムーズに進み難い。関係官公庁の総合的判断を望む	・イベント開催は人を集めるが一過性のものであり、その人々を 年間通じてのリピーターとして確保する努力が必要 。その素地づくりとして、高級感のある自然の中のムードに沿った 宿泊、食事、喫茶、トイレ、休憩所棟の整備 が必要と思う。これら施設は数は少なくてもよい。
13 西条市サイクリング大会実行委員会	・「石鎚山麓スイートライド」実行委員として運営手伝い		・サイクリング大会のコースを愛媛県が指定した「愛媛まるごと自転車道」の1コースでもある瓶ヶ森林道を走るルート開設を目指し、サイクリングルート、海の景観を楽しむ「しまなみ海道」山の景色を楽しむ瓶ヶ森林道「UF0ライン」の素晴らしさを伝えたい
14 高知県サイクリング協会	-	-	・町道瓶ヶ森線「UF0ライン」を追加しては。 ・タンDEM自転車の活用
15 四国運輸局			
16 中国四国地方環境事務所	・石鎚山系鳥獣保護区設定し、鳥獣の保護管理実施	・石鎚山系鳥獣保護区内及び周辺において、近年、ニホンジカによると見られる植物の食痕、鳴き声、足跡が見つかり、 今後もニホンジカの生息域の拡大が懸念される	・ 石鎚山のフィールドを利用した環境教育 を実施したい
17 四国森林管理局	・石鎚山系を巡視し、登山者への啓発、簡易な歩道修理等を行う自然保護員を毎年雇用。今年度も2名。	・ 土小屋ルートの登山道の管理責任者が明確でない 。昨年度まで石鎚神社が修繕等の維持管理をしてきたが、今年度から管理する方がいない状態になり、一時は通行止めも検討。 ・同様に2の鎖から 上の迂回路についても、管理責任者が定まっていない 。 ・登山を含む観光資源を将来にわたって持続していきたいのであれば、 登山道等の施設についての維持管理を検討 してほしい	
18 愛媛県自然保護課	・石鎚山系を中心とした地域におけるエコツーリズム推進	エコツーリズムの知名度向上	
19 愛媛県東予地方局	・ モニターツアー 、 旅行エージェント招聘ツアー 、 山岳観光企画ツアー 、 山の魅力入門講座の開催 ・ Webサイト 、 FB 、 PR用チラシ 、 Web広告リーフレットの作成配布 ・ 山岳イベントでのPR実施	・JR西条駅とロープウェイ山麓下谷駅間の 二次交通手段充実 ・歴史や自然についても説明できる 地元ガイド養成 ・山以外(宿泊や飲食等)への誘導 ・石鎚を含めた東予の山々としての ブランド化 ・ ハード整備	・ 石鎚山系、法皇山系を含め、四国アルプスとしてPR ・ 大型プロモーション ・ 有名人と登る登山ツアー ・鎖サミット(全国の鎖に関する施設等が集結) ・鎖体験実施のための体制整備 ・アウトドアショップと連携したイベント ・ドローンによる撮影と公表 ・歴史や自然など他との差別化が図れるものを素材とした訴求方法検討 ・ここでしか手の入らない、食べられないもの ・団体(山岳協議会場)でのPR
20 高知県	・高知県産業振興計画の仁淀川流域アクションプランに「いの町本川地区での山岳観光の推進」を位置付け、実施主体であるいの町、いの町観光協会が交流人口の拡大に取り組んでいる。 ・高知県産業振興アドバイザー事業を活用し、①観光客のニーズに合った観光施設活用、②「観光と防災の拠点」としての視点、③山岳観光スポットとして西日本でも最も魅力あるエリアを活かすことなどについて検討。	・道の駅木の香、山荘しらすの活用方法や 連携体制が構築されていない 。山岳観光の拠点施設としての機能強化(観光案内・防災拠点等)及び施設の拡張、耐震等の整備が必要。 ・自然・文化・歴史など山・地域の魅力などを伝える ガイド不足及びガイド育成の仕組みが構築されていない 。	・UF0ラインや瓶ヶ森、東黒森などのまずは初心者向け登山ルートの ガイド育成及びガイド組織の立ち上げ ・道の駅木の香、山荘しらすを 観光情報発信拠点 として活用するための施設整備
21 愛媛大学			
22 高知大学	-	-	・地域振興に関する取り組み支援、協力 ・ 大学との連携の可能性 の模索と実践
西条市	・石鎚山系の魅力を活かした誘客を図ること及び石鎚山系を中心とした地域活性化を図ることを目的とし、関係機関との連携の下、 情報発信 や 登山道 ・ 案内標識等整備 、 受入れ環境充実 する取組を実施。(広域観光パンフレット「石鎚とつながり」作成、縦走体験ツアー、市民登山教室、石鎚山系PR映像作成、登山情報モニター、瓶ヶ森ヒュッテ活用検討、登山道・案内標識等の整備、スノーカーニバルin石鎚)	・ リアルタイムな情報発信不足 ・ 各自治体、民間等が実施している取組の情報共有不足	石鎚山系に関わる自治体、民間が、共通認識のもと事業を進め行くこと。
久万高原町	・面河溪・土小屋ロータリーの清掃・公衆トイレ管理 ・「山の日」「石鎚の日」における記念品配布、スタンプラリー、トレッキングイベント実施 ・天下ノ絶景面河再生事業の実施(面河支所) ・ 石鎚山クリーンアップ協議会 ・ 石鎚山系エコツーリズム推進協議会 への参画 ・面河山岳博物館秋の企画展「溪と森と山と」開催	・ 景観整備 (老朽化した建物の撤去、支障木の除去) ・ 安全管理 (登山道及び遊歩道の整備、繁忙期における道路渋滞への対応) ・ 県外への情報発信 、外国人観光客への対応など	
いの町	・ 笹ヶ峰 、 瓶ヶ森 、 伊予富士 、 寒風山 等への アクセス道である町道 (瓶ヶ森線・瓶ヶ森西線・一の谷寒風線)の維持管理補修 ・石鎚山系観光客が利用する 公衆トイレ の設置と維持管理 ・全線完備はできていないが、 登山道の補修 、維持管理	・町道瓶ヶ森線・西線は、全国区で有名になったことからシーズンには混雑。県道への昇格について検討、要望していきたい。 ・吉野川源流への登山口付近への 公衆トイレ設置 の検討 ・ 常時、登山道の状況確認ができていない	・石鎚山系ということで、 隣接市町村や関係機関とも情報交換 を密に行っていききたい。 ・結果、山岳観光や地域振興等へ繋げていけることが多々あると思われるので、今後も 連携しながら様々な事業やイベントを実施 していけたらと思う。 ・今回の連携事業が県を跨いでの取り組みのひとつとしてモデルとなれば、四国山系として今後更なる発展にも期待できるのではないかと考え、 事業実施期間終了後も継続できる組織作り ができたかと考える。